



4 本時の展開

(1) 本時の目標

速さを単位量あたりの大きさの考えを用いて表すことができる。

(2) 本時の評価規準 (学習者の姿)

おおむね満足できる姿	既習事項をもとにしながら、2量が異なる場合について、1秒間に走る距離や1メートル走るのにかかった時間で速さを表して比べる方法を式や言葉を使って表現している。
努力を要する学習者への支援	単位量あたりの考え方を表したワークシートに計算し、速さを比べる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動 (○主発問、・予想される学習者の反応)	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 前時想起をし、問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>速さの順番を比べよう。</p> <p>A 40m 8秒      D 30m 7秒</p> <p>B 40m 9秒      E 60m 10秒</p> <p>C 50m 9秒</p> </div> <p>2 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いちどに速さを比べるときにはどうしたらいいのかな。</p> </div> <p>3 解決の見通しをもつ。</p> <p>○どの比べ方だといちどに比べられそうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1秒あたりに走ったきよりで比べる。</li> <li>・1メートルあたりにかかった時間で比べる。</li> <li>・最小公倍数は、見つけるのが難しそうだし、数が大きくなって大変。</li> </ul>	<p>1 前時からの続きで児童が日常生活の中で身近に感じられる場面を提示し、比べてみたいという意欲につなげる。</p> <p>2 比べる対象が増えたり、どんなときでも比べることができる方法を考えていくことを確認する。</p> <p>3 前時の学習をふり返りながら、比べるのに便利な考えはどれかを見通させるようにする。</p>
展開 35分	<p>4 自力解決をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位量あたりの考えを基に、言葉や式を使って記述する。</li> </ul> <p>5 グループで考えを伝え合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1秒あたりのきより</p> <p>A <math>40 \div 8 = 5</math></p> <p>B <math>40 \div 9 = 4.444 \dots</math></p> <p>C <math>50 \div 9 = 5.555 \dots</math></p> <p>D <math>30 \div 7 = 4.2</math></p> <p>E <math>60 \div 10 = 6</math></p> <p>速いほど距離を表す数は大きい。大きい方から速いと分かる。</p> <p>E→C→A→B→Dの順</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1mあたりの時間</p> <p>A <math>8 \div 40 = 0.2</math></p> <p>B <math>9 \div 40 = 0.225</math></p> <p>C <math>9 \div 50 = 0.18</math></p> <p>D <math>7 \div 30 = 0.233 \dots</math></p> <p>E <math>10 \div 60 = 0.1666 \dots</math></p> <p>速いほど、かかる時間は短くなる。数が小さいほど速いと分かる。</p> <p>E→C→A→B→Dの順</p> </div> </div> <p>6 全体で確認し、課題についてまとめる。</p> <p>○いちどに比べるときはどのように比べるとよいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位量あたりの大きさを比べると比べやすい。</li> <li>・長い距離を選べばいいから、時間を1にすると便利だった。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いちどに速さを比べるときには、1秒間あたりに走ったきよりや、1mあたりにかかった時間などの、単位量あたりの考えを使って比べるとよい。</p> </div> <p>7 適用問題を解く。</p> <p>○ほかの速さ比べもできるかやってみましょう。</p>	<p>4 比べる対象が増えた時に、どのように速さを比べたのかが分かるように、式や言葉でノートに記述させる。</p> <p>5 グループでお互いの考えを伝え合うことを通して、速さは単位量あたりの大きさを表すことでいちどに比べられることや、速いととらえることができた根拠を自分で説明できるようにさせる。</p> <p><b>【本時評価場面】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○既習事項をもとに単位量あたりの考えで立式し比べ方を記述したり、なぜ、速いと言えるのか根拠を明らかにして説明したりすることができているか。</p> <p>(観察) ※座席表をもとに</p> </div> <p>6 伝え合う活動を通して、単位量あたりの大きさを比べていくと、一度に比べられて便利だと確認し、課題についてまとめる。</p> <p>7 <b>【本時評価場面】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○単位量あたりの大きさを速さを比べているか。(答え合わせ・挙手)</p> </div>
終末 5分	<p>8 教師のふり返りを聞く。</p> <p>9 自分の学びをふり返る。</p>	<p>8 本時の学びの全体を教師がふり返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日は、比べる数が多いときに、いちどに比べる比べ方を考えて、友だちどうして伝え合いました。1秒あたりの距離や1メートルあたりの時間を求めて、単位量あたりの大きさを比べるといちどに比べられて便利だということを学習しました。</p> </div> <p>9 「ふり返りの視点」をもとに、自分の学びをふり返る。</p>